

ゴー！つばさ

第 267 号

11月17日の横浜、11月23日の静岡、コロナワクチンシンポジウムに参加しました。ジャーナリストの鳥集徹さん、ユーチューバーの藤江成光さん、兵庫県尼崎市の長尾和宏先生、参議院議員の川田龍平さんら、コロナワクチン界隈では超有名な人たちが参加され、会の後に行われた懇親会では親しくお話をさせていただきました。運営の人も含めて、皆さん熱心に活動されています。私も草の根のヒゲくらいにはなりたいたいと思います。

ゴー！ 医見 vol.267 草の根のチカラ

長尾和宏先生は長年在宅医療に献身的に取り組んでおられた先生ですが、本年5月に第一線を退かれました。コロナ治療での奮闘ぶりを著した「一人も死なせへん」という本の他、多数のベストセラーを執筆されています。

「痛くない死に方」という映画も作成されています。柄本佑、余貴美子、宇崎竜童らが出演していて、癌の末期であっても苦痛もなく、ご自宅で穏やかな最期を迎える、という人間味あふれた映画です。ちょっぴりずるいのが、長尾先生役が奥田映二なんですよ。カッコ良すぎ！（笑）。

イベルメクチン

先生は、コロナ禍の初期はテレビにも頻繁に出演され、早期診断、早期治療を実践すれば死亡しない、と主張されていました。特に強調されていたのがイベルメクチン。ノーベル賞を受賞された大村智先生が開発された薬で、疥癬というダニが悪さをして強い痒みを来す、疥癬症の治療薬として有名です。多数の新型コロナウイルス患者にイベルメクチンを投与し、改善したという実績があり、それをことあるごとにテレビ等で拡散していました。価格もとてもお安いのです。

ところが、2021年2月14日にコロナワクチンが認可された後にテレビ番組で「イベルメクチン」と言ったら、その後出演の依頼が来なくなったそうです。そして、イベルメクチンも闇に葬られました。インチキな臨床試験で「効果がない」というレッテルを貼られてしまったのです。安価で有効な薬はコロナワクチンでお金儲けを企む「闇の勢力」にとっては「邪魔者」だったんです。

草の根のチカラ

長尾先生についてはとっても光栄なことがありました。ご自分のブログで私が全国有志医師の会に寄稿した文章を紹介してくださったのです。以下に引用します。

「草の根のチカラ」は、バカにできない。雨垂れが石を穿つように突ることもある。有志医師の会のメルマガにその話がある。この石川先生は存じ上げないけども、素晴らしい活動だと思う。気が付いたひとりひとりの医師が、草の根運動を広げればいいだけ。

<http://blog.drnagao.com/2024/11/content-11.html>

「その話」というのは「草の根のチカラ」小さな1歩を大きなうねりに変える～石川 亨 医師という私の寄稿文のことなのです。コロナワクチン勉強会のことを書いたものですが、以下に、抜粋を紹介します。

（前略）「医師に理解してもらうのは難しいけど、患者さんは分かってくれる。だったら分かってくれる患者さんを増やせば、いつかは医師も分かってくれるのではないか」そんな勇気をいただきました。これからもインフルエンサーを増やすべく続けていきます。（中略）最後になりますが、ワクチン被害者の救済が速やかに、かつ適切に行われることを切に願うとともに、微力ながら貢献したいと思います。皆さん、ともに乗り越えて行きましょう！

実は懇親会で名刺交換をした際に「有志医師の会の石川です」と自己紹介したら、「ええ?! 有志医師の会の石川先生? オレ、先生のことブログに書いたよ!」と驚いておられました。

晴れて存じ上げてもらえる存在になりました（笑）。末筆ながら、会を企画・運営して下さった方々、本当にお疲れさまでした。そして、素晴らしい出会いをありがとうございました。
つばさクリニック院長 石川 亨